

コロナ禍での学生生活

芳香編集委員会

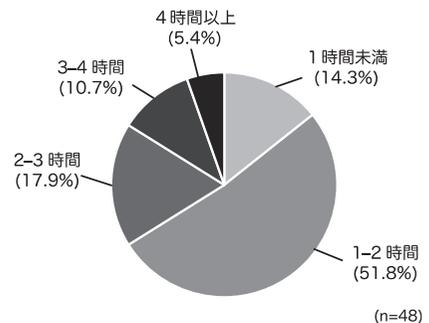
はじめに

世界中で猛威を振るっている COVID-19 により前期の間は一度も対面での授業・実習が実施されず、私たち 2 年生は前期全面オンライン授業を余儀なくされました。大学史上初の環境の変化に学生がどのように感じていたかを明らかにするために、北大薬学部 2 年生にアンケート調査を行い、授業形態や生活習慣にどのような変化があったのかを調べました。今回はその結果を特集記事とし、皆様へご報告致します。

Q 1 前期授業（オンライン授業）の間、1 日の勉強時間は平均でどれくらいでしたか？

この質問には半数以上が平均勉強時間は 1～2 時間であったと回答しました。以下に寄せられたコメントを紹介します。

「それぞれの授業ごとに出席確認を兼ねた課題が毎週課されるため、対面授業が始まった今（後期）よりも課題に追われ大変だった」という意見が多数見受けられました。その一方で、「課題を出してもらった方が一所懸命に勉強するため理解度は高かった」という意見もあり、対面授業とオンライン授業の良し悪しは人によりだいぶ異なるようです。また、課題が多く自宅に居る時間も長くなったために勉強時間が増えた生徒が多いと予想しましたが、平均勉強時間が 4 時間以上の人全体の約 5% であり予想に反して少ない結果となっています。



1 日の平均勉強時間は？

Q 2 前期のオンデマンド授業（本来の授業時間から 1 週間視聴可能）はこなすことができましたか？

できた：39 名 できなかった：9 名

できたと答えた人が多かったのが印象的でした。できたと答えた人の意見としては「1 回では分からなかったところを何度も見ることでよかったです。」という内容のものが多かったです。

他にも、「1.5 倍速にしてちょうどよかった。」「自分のペースで勉強できる点はよかった。」「溜めないように時間割通りに受けるように心がけていた。」「自分のペースで倍速にしたり動画を止めたりして、ノートをとる時間と説明を聞く時間を区別できた。」「ほとんどの授業で資料を PDF で配布されていたのでありがたかった。」などがありました。

次に、できなかったと答えた人の意見を挙げます。「後回しにして期限を過ぎてしまうことがあ

た。」「期限が1週間と長く、後で続きを見ようと思っていたら期限を過ぎてしまうことがあった。」「やり始めるまでに時間がかかった。」「家だと授業中に寝てしまうことが結構あった。」「1限がオンデマンドだと溜めてしまう。」などがありました。

理解に合わせて動画の再生を止めたり、速さを遅くしたり速くしたりできたことは、授業を受ける上での集中力の維持や、理解度のアップにもつながったのではないかと考えられます。

また、オンデマンド授業は絶対にこの時間に受けなければならないという縛りが無い分、忘れてしまったり、やる気が出ないという面もあります。そこで、時間割通りに視聴するなど自分の中で決まりを作るなど工夫していたことが分かりました。

次にオンデマンドだけでなく、オンライン授業全般についての質問をしました。

Q 3 オンライン授業と対面授業どちらがいいと思いますか？

オンライン授業：11人 対面授業：32人 どちらもよい：5人

対面授業が良いと答えた人が約7割と多数を占めました。その理由の中で「授業で分からなかったところをすぐに友達に聞けるから。」という意見が多く挙げられました。

他にも「オンライン授業と比べて孤独感が少ないから。」「1人だと勉強のスイッチが入りにくいから。」「メリハリがつくから。」「周りの状況がわからないのはつらいから。」「前期を通して大学は勉強をするだけの場所ではないことを改めて感じたから。」などがありました。

オンライン授業と違い、同じ空間で授業を受けるという点で集中できる環境だと感じた人が多かったようです。オンライン授業では毎時間、ほとんどの授業でレポートや小テストなどの課題があったため、それを負担に感じている人も多いのではないのでしょうか。また、授業での疑問点を周囲の人とその場で相談できることで、ほかの人がどの程度理解しているのかを知ることができるだけでなく、直接コミュニケーションをとれ、前期のオンライン授業で感じた孤独感を取り払うことができたのではないかと思います。

次にオンライン授業がよいと答えた人の意見としては「授業の質問をチャットで先生に送れるので、コミュニケーションが取りやすいから。」「授業で聞き逃したり、分からなかったところを何回でも視聴できるから。」「対面の時とは違って席による声の聞き取りやすさや文字の見にくさがないから。」「アーカイブを利用して復習しやすかったから。」「時間的に色々な手間が省けて効率的だから。」などがありました。

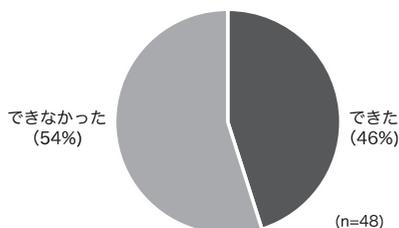
オンライン授業は同時配信型の授業もアーカイブが1週間残っている科目が多かったため、分からなかった点の理解や復習に役立てることができ、チャットを利用することで先生への質問が出やすいという利点があることが分かりました。

最後にどちらもよいと答えた人の意見を紹介します。「対面授業は友達ができ、オンラインはアーカイブが残るのでどちらもいい。」「朝起きるのが大変なので、午前中だけオンラインがいい。」という意見がありました。

午前中の授業をオンライン、午後は実習というように組み合わせることでどちらの良いところを利用でき、上で欠点として挙げられていた部分を解消できるという考えがあり、この考えに賛成の人は多いのではないかなと思いました。

Q 4 前期のオンライン授業期間中に薬学部の友達はできましたか？ また、友達ができただけの人とはどのような方法で知り合いましたか？

アンケート結果は右の円グラフの通りとなり、友達ができただけの人は46%、友達ができなかった人は54%という結果でした。「友達ができただけ」と答えた生徒のうち約半数は7月中に行われた研究室訪問でできたという回答をしています。また、Twitterを通して知り合いになったという回答も見受けられ、現代ならではの方法だと感じます。しかし、Twitterで知り合った友達に初めて実際話しかける際微妙に気まずかったと答えた人もおり、オンライン上で友達を作る難しさを痛感しました。一方で「友達は出来なかった」と答えた生徒のなかには、そもそも友達を作ろうとしなかったという意見もありました。

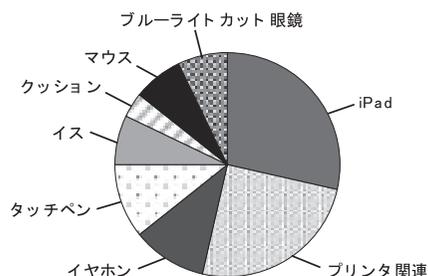


薬学部の友達はできましたか？

現在は対面での授業並びに実習が始まっているので友人関係が広がっているように思いますが、前期のうちは友達と相談することもできず1人で日々の勉強を頑張っていた人も多かったようです。

Q 5 オンライン授業開始に伴い、新しく購入したものはありますか？

アンケート結果は48人中27人(56%)が「新しく購入したものがあ」と答え、21人(44%)が「新しく購入したものは特にな」と回答しました。画面越しの授業開始に伴い、授業環境を良くするためかパソコン周辺機器の購入が目立ちます。その中でもとりわけ目を引いたのは高額電子機器であるiPadの購入です。これは「新しく購入したものがあ」と回答したうち30%の人がiPadを購入したことになります。学生の中には家計が厳しい人も少なくなく、そのような人にとってオンライン授業は揃えるものが多く非常に厳しいものだったのではないのでしょうか。



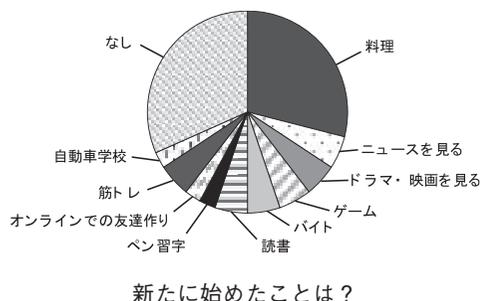
新たに購入したものは？

それ以外で多かった回答はプリンター関係のものです。オンライン授業中、講義資料は大学ホームページ(ELMS)上にあげられ各自で印刷するという形式であったため、それまでは必要に応じて学校やコンビニで印刷していた人が外出自粛の影響もあり購入したと思われます。印刷紙代がほ

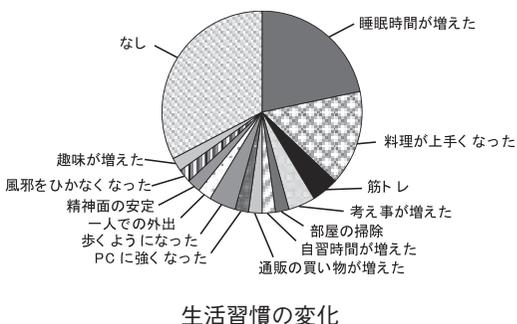
しかったという意見もありました。

Q 6 「コロナ状況下で何か新しいことを始めましたか？ また、生活習慣が変わったことでいい変化はありましたか？」

どちらの質問に対しての回答でも目立ったのは料理でした。外出ができないために外食などできず、家で時間が増えたことで、自炊に新たに挑戦する学生が増え、もともと自炊をする習慣のあった人は料理のレパートリーを増やしたり、お菓子作りへの挑戦、今までよりおいしく作れるようになったなどの変化があったようです。また新しく始めたこととして、ドラマ・映画を見る、ゲーム、読書、筋トレなどといった趣味を増やした学生が多くいました。家で過ごす時間が長くなると、勉強以外の空いた時間を使うために新しく趣味を増やす人が多く、コロナ状況下以前から持っていた趣味に対して1日に割ける時間が増えたことで、有意義に過ごせたという学生もいました。生活習慣の変化で最も多かったのは睡眠時間が伸びたという回答で、友達とも会えない状況だと夜遅くまで遊ぶこともなく、課題なども日中に終わらせるので、規則正しい生活を送ることのできる学生が増えたようです。新しく始めたことや生活習慣の変化がなかったという学生もいましたが、多くの学生は1人で自由に過ごせる時間が増えたことで、生活に変化が出ていたようです。



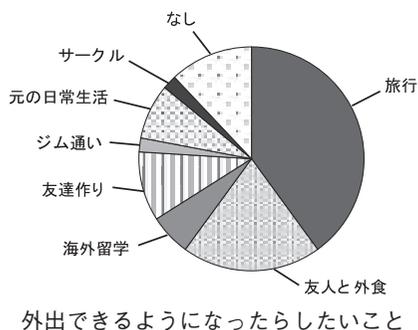
新たに始めたことは？



生活習慣の変化

Q 7 「外出自粛期間中、外出ができるようになったらしたいと考えていたことはなんですか？」

一番多かったのは旅行をしたいという回答でした。Goto キャンペーンを活用してたくさん行ったという学生もいれば、全く行けなかったという学生もいました。やはりコロナ感染を避けるために国内旅行も自粛する学生も多かったようですが、道内であれば大丈夫と考え、バスツアーを利用して道内を巡っていた学生や、帰省のみしたという学生もいました。2年生になり、学部移行によって学部内に知り合いがいないという学生は、前期に1人で授業を受けることや誰とも話せない環境が辛いので、友達作りをし



外出できるようになったらしたいこと

たいという意見もありました。仲の良い友達と外食したり、普通に遊びたいという意見があれば、インドア派でこのまま家で過ごしていたいという意見もありました。将来のために留学を考えていた学生は、海外でもコロナが流行していてロックダウンしている都市もあり、やむなく断念せざるを得なかったようです。

終わりに

今回薬学部2年生78名にアンケートをとり、48名からの回答を得ることができました。前期では、今までとはがらりと変わってしまった学生生活を送ることになり、困惑しながらもそれぞれが授業や生活習慣の変化に対応しようと努力していたことが分かりました。後期からは様々な対策を講じたうえで対面授業が再開されています。今まで通りに戻るとまではいかなくとも、登校できることや、同級生と直接会って話せることなど少しずつできることが増えてきているといえます。